

タイから柔道武者修行



高校生チャンピオン・チャンさん

【バンコク進藤卓也】

タイの高校柔道チャンピオン、チャン選手(16)が今月末から約1カ月間、日本に武者修行の旅に出る。日本の高校生と一緒に練習を重ねるほか、7月には福岡市で開催の金鷲旗高校柔道大会(西日本新聞社など主催)を見学する予定だ。タイでチャン選手を指導する三浦守さん(52)は「日本の高校生にもまれさせて、自分の実力を知ってほしい」と願っている。

チャン選手はタイ東部、チャンタリ県の高橋生。今年4月の全国柔道大会は16歳以下55kg以下級で、全試合一本勝ちで全国優勝するなど、これまで計4度の全国一になった。10歳の柔道を

九州中心に1カ月 金鷲旗も見学



始め、得意は投げ技。「五強い練習相手がいない輪金メダリストの古賀悠一が一番の悩み。それに彦選手のように became a top-level judo player」と夢を抱く。

鹿兒島市出身で高校時代、研究するのはいいが、そればかり見るので「あんなに簡単に投げられるの選手として金鷲旗で憧れたい」と話している。

「投げを習え」と同時に、タイに飛び帰ったくなるくらい日本の高校生と一緒に自分の未熟さを感じてほしい。それに金鷲旗大会という、あのものすごい会場の雰囲気を感じさせてやりたい」と、同大会に合わせて来日を目指す。

2人は今月末に東京に入り鹿兒島、熊本、福岡と回る予定。「柔道家を目指しているが、タイの全言はらひ、柔道をもっと優勝を言っても、日本の高校生の一流レベルと比べたらまだまだ」と、有感な訪問に詳しい評論。「タイでは」と話している。

平成22年(2010年)7月14日 水曜日 熊本県新聞

柔道日本で磨く一本



タイから柔道修行で訪れたバンコク・ノサタニ君(右)と鎮西高OBの三浦守さん(左)と鎮西高

タイの16歳少年 鎮西高で修行

タイで柔道に励む少年が6月、福岡市を予定。将来、五輪出場を目指すバンコク・ノサタニ君は、柔道修行を続けたい。タイ国スライ君は得意の立ち技のほか、大会の16歳以下55kg級で優勝か、「絞め技や関節技も勉強したい」と憧れ、6月の九州高校柔道大会で男子団体優勝を果たした鎮西高の選手、三浦守(16)は、7月まで柔道の本場で、腕を磨く。

タイ国スライ君は、5輪で汗を流している。今季の成長を期待する三浦守(16)は、定期的な指導している。三浦守さん(52)は、東京都世田谷区が鎮西高出身という縁で、日本の選手と触れ合い、本物の空気を味わってほしいと話している。(佐藤公彦)

五輪出場目標 「絞め技や関節技 勉強したい」